



医療と福祉のサポート室たより

2023年8月発行 新潟医療センター 医療と福祉のサポート室

日頃から『医療と福祉のサポート室』のご支援ありがとうございます。
今号では、6月15日に開催された「こぼりの広場」のご報告と、地域連携支援部の新たな顔ぶれをご紹介します。



新しく着任しました！

5月より医療相談室の入院支援看護師に配属になりました。
医療相談室に配属になる前は病棟で勤務していました。
患者様やご家族様が入院に対する不安が少しでも軽減されるよう努めてまいります。
まだまだ未熟なところもありますが外来と病棟そして退院へと繋げていけるよう支援介入していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

入院支援看護師 澁谷香奈子

6月より医療相談室に事務員として配属されました大久保里美と申します。山形県山形市の出身で、蔵王の四季を見て育ちました。今は佐渡に沈む美しい夕日を見るのが大好きです。
医療相談室では入退院支援NSの事務サポートを担当いたしますが、患者様の入退院がスムーズに遂行されますよう、一日でも早く仕事を覚えてお役に立てるよう努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

事務 大久保里美

よろしくお願いいたします。
相談室には現在、看護師5名、MSW5名、事務員1名が在籍しています。



こぼりの広場 開催報告

6月15日に今年度初のこぼりの広場を開催いたしました。

・参加者：院内18名（医師、病棟・外来看護師、地域連携支援部）

院外22名（地域包括支援センター小新小針、在宅医療・介護連携ステーション西、小新小針圏域のケアマネジャー）

・内容：包括からの話題提供をもとに、グループワーク
※当日の話題提供・プログラムの抜粋

話題提供～A様の事例～

【A様について】

- ・95代 女性 お一人暮らし 要介護1
- ・週2回 デイサービスを利用
- ・家事、金銭管理等 自立

ケアマネジャー

【既往歴】

結核性甲状腺腫 不安神経症 高脂血症
一過性脳虚血発作 聴骨骨折 肋骨骨折

【心配なこと】

デイサービスに、ペタヒスチンメシルを2錠（本来は1錠）を持参するなど、服薬管理が心配な様子が見受けられる。

管理方法の見直し、一泊化にするなどを提案する。

↓

A様「間違えたことはない、自分のやり方がいい。」と。

肋骨骨折受療、家事等困難となりショートステイを利用、お手製の薬箱を持参し入所、看護師が服薬を確認したところ、残薬がバラバラであり、少ない薬は残5日分、多い薬は残1ヶ月分以上はある。

グループワーク

みんなで考えたいこと…

- ① ケアマネジャーが伝えたかったこと、気付いてほしかったこと、求めていること。
- ② ケアマネジャーと医療機関とのコミュニケーションの取り方、アプローチの仕方、どこにどのように。
- ③ 在宅の視点と医療の視点。
- ④ その他、思うところ。

・参加者の声：院内外ともに同じ思いを感じました。

- ・画面越しではなく**対面**での話し合いは、**一体感**が持て良かった。
- ・**医師、看護師**の参加もあり、**他職種**の視点や**立場の違い**が分かった。
ケアマネさんが困っている事を知れた。
- ・どの時点で情報共有をしたらよいか課題である。
在宅側・病院側も連携に苦慮している。
- ・こういったディスカッションを**繰り返す必要がある**。

令和3年8月より「こぼりの広場」はオンラインからスタートしました。
ようやくこの度、参集式での開催が出来ました。画面上でお会いしていた皆様と直接テーブルを囲み活気のある会となりました。



※相談室からのお願い※

8月21日から9月22日まで社会福祉士の実習生が来ます。院内の多部署にも実習プログラムを計画しています。ご協力をお願いします！